

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

「うきはブランド通信」

UBC～ukiha brand communication～



平成 30 年 2 月 26 日
福岡県うきは市



(報道各社への取材の御案内)

国登録有形文化財「楠森河北家住宅」で伝統行事「壁結」

(参加者募集告知及び取材のお願い)

国の登録有形文化財「楠森河北家住宅」(平成 16 年 3 月 2 日登録)は、うきはの地に 800 年間 35 代続く旧家で、壁結(かべゆい)など、民俗的に貴重な祭事が今でも多く残る。

日本近代美術史研究の先駆者である河北倫明氏(美術評論家)の生家でもある。

■壁結(かべゆい)

伝統の竹垣づくり「壁結(かべゆい)」では、屋敷を取り囲む竹垣を交換する作業。

幾重にも立てた真竹を四段の孟宗竹と真竹で取り巻いたもので、4 年を 1 サイクルとして、古くなった部分を順次、毎年取り替えていく。竹と荒縄だけを用いた昔ながらの伝統技法は 300 年以上、旧正月の行事として大切に受け継がれている。

■日時: 3 月 3 日(土) 午前 8 時 30 分作業開始 (午後 3 時ごろ終了予定)

※小雨決行、荒天時は 10 日(土)に順延

■場所 国登録有形文化財「楠森河北家住宅」(うきは市浮羽町山北 2056)

※動きやすく汚れてもいい服装、持ってくる物(「軍手」、お持ちであれば「剪定はさみ」)

※昼食は自家産米、豚汁の炊き出し振る舞い

●問い合わせ: 河北幸高(携帯 090-1081-8816) <http://kusumoridou.blog117.fc2.com/>



写真左＝楠森河北家住宅(国の登録有形文化財)、写真右＝壁結(かべゆい)

編集・送信: うきは市総務課広報係(Tel.0943-75-4980)

※FAX を手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 うきはブランド通信

2018. 2. 26 発表/国登録有形文化財「楠森河北家住宅」で伝統行事「壁結」